

刊夕日一廿月一十

常 警 日 新 報

定価 一圓五錢
発行所 常警毎日新聞社
印刷所 常警毎日新聞印刷株式会社



念佛の二筋道

人間とは、何れの行も及び難き身であることを親鸞聖人は教へておられる、その人間のどん底の赤裸々な姿を、餘りにもハッキリと七百年前に見抜いてしまはれた、その結果として「地獄は一定、棲家」といふに到達せられたのである。然らば私たちは皆んな地獄の外はないのかといふに、念佛の一行によつて残らず救ひ取られることが出来るとの聖人の教へである。こゝでヘタな説教師は念佛の功徳を六神丸の功能と一つにして南無阿彌陀佛といふ一聲の内に、起死回生一切の靈藥妙力が丸め込まれてある、それを信ぜよ、信じたものは極樂へゆけるといふのが信を主とする真宗側の言ひ分であり、いや信ぜずとも六神丸を呑みさえすれば治る、念佛を稱へたら必ず往生が叶ふといふのが行を主とする浄土宗側の説明である。

信するといふに度敷はないが、念佛の方になると何べん稱へたらよいのかと問題となり、法然上人の滅後には、度敷の詮議で流派が

が分れた意味もあり、一聲で救はれる力が無いやうな薄弱なものなら澤山稱へても無意義だといふ一念義の現はれる一方、いや一聲で結構といふことになるとアトの相續が無用となるから矢はり生涯、數多く稱へねばならぬといふ多念義が主張されるといふ風なことに

ノット

鰹節を貯藏するに一本宛新聞紙に包み箱の中に灰を入れ、その中に埋めておき、置きますと、鰹節に虫がついたり、ぼろ／＼したりすることがありません。

も岐れて行つた、すると浄土真宗側では、いやその一聲すらも無用ぢや念佛は往生の絶対條件ではない、佛の救済は無條件ぢや、信ずる一念で救はれる、そのお

二明日の献立

【朝】小松菜のみそ汁
【晝】さつまいも、うすくずかけ
【晩】とうふ、かきのみそ汁

禮報謝の現はれとして念佛が出るのだとも説かれたし、不學な私には今こゝでそ

の是非を判定することは容易ではないけれど親鸞聖人の申された「たゞ念佛のみぞまことなり」といふ御垂示には成る程と推服する、大臣や代議士だけといふではない、凡そ人間の何れの行も他人を蹴落しても己れ先づ好かれといふ淺ましい心の表現でないものはないが、たゞ念佛の一行のみはさうした巧利の念想をばなれた清淨そのものであり、佛の慈悲彌陀の本願への交響路である。

念佛に佛の救済を豫定することは念佛が惡徳を幫助する結果となり易く、念佛の害毒これより甚しきはな

いとの説もあり得るが、惡人の救はるゝ道なくば宗教も無用である、さうかと思ふと法然上人の弟子となつた大和の耳四郎は、ねん佛しつゝ泥棒をはたらいたといはれる、泥棒せずには生きられないといふ哀れな宿因の道あることをも凝視せねばならぬ。

との兩者は決して一致するものではない、南無阿彌陀佛の聲もろ共に他人をどやしつけることは至難である人を殺しての歸るさにねん佛は出るかも知れぬが、人殺しに出かける形相に南無阿彌陀佛は伴ふまい、心が鉛のやうに惡鬼に沈みゆくときねん佛は出るものではない、その暗い心の筒口が上方の光明へと向けられた時にのみねん佛は沸き出るとへ地獄の釜底にゐても一ねんア、惡るかつたど上を向いたとき出るのがねん佛である。

それはなぜかといふにまことは佛の體であり「ねん佛のみぞまことなり」といふことはねん佛とはほとけの慈悲、彌陀の本願とその本質をひとしうしてゐるからである、ねんぶつの一筋道をだん／＼さかのぼりてゆけばその源はほとけの心に達するであらう、ほとけの心が形として現はれたものがねんぶつである。完

常警歌壇

仲田 忍い

かたまりのどに現はれ痛むなり物も想へず秋夜を泣けり
古き書を讀めど心の落着かずのどの痛みのつりし今宵

金銀

高價買入致します！

御修繕は

技術に絶対自信
を持つ弊店へ
ダイヤ堂

鈴木時計店

平驛前通り

看護婦急派

の求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

胃腸病妙藥

昔ハ料理ニ必ズ「シ、茸」ヲ用タリ今ハアマリ使ハズ甚不都合ノ次第ナリ「シ、茸」ヲ煎ジ臥寝前ニ服用スレバ胃腸ヲ整ヘ便通正シク氣分爽ナリ諸病ヲ未然ニ防グ効能アリ人助ノ爲メ廣告ス此ノ秋ハ茸類ノ出ル時節ナレバ新茸程効能著シ各家庭ニテ百々位ツ、常備シ置ク事肝要ナリ

平新川町十九

木村病院

電話一六四番

外科 産婦人科 婦人科 内臓外科 整形外科 器尿外科
院長 木村寅次郎 醫學士 内 木宗八

吸入用酸素純度 99%

度量衡

モノサシ
マス
ハカリ

計量器

体温器
寒暖計

●秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局

電話四〇番

吉田眼科病院

平驛前町、電話六八番

物質一般

各種債券類

三井質店

平町南町
電話二二九番

上田科醫院

平町南町
電話二二九番

月曜是非

天災と反省

這般の風水害は、通り魔の如く、言語に絶せる大惨禍を郡内各所に残して一巡した、市街地を始め農漁山村、何れも此の天帝の脅威に戦かざるものはなかつた就中、最も慘澹たる被害を蒙つたのは農村と漁村である。

現下の深刻なる不況に沈淪して、如何にかして活路を見出さんともがき、漸く匡救事業等の開始に依つて幾分なりと前途に光明を見る事が出来やうとした矢先

き、今又此の被害に依つて叩き付けられた惨状は、實に涙なくして見られぬ一幅の地獄圖の観がある。

然れ共、唯單に今回の大被害を免れ難き天災也として天なり命なりと諦め盡し何等反省の餘地なきものであらうかどうか、否、吾人は人智の及ぶ限り、此の災害を未然に防ぐ上に於いての用意と準備を反省し、僅かながらも暴威の手より回避し得べき方途を、此際ハツキリと見定めて置く事は今後の生活をして安易ならしめる一つの階程ではなからうか。

當地方農家の慣習として稲の刈り入れが一帶に遅れ勝ちである事は屢々問題となる處である。農事の指導機關が聲を洩らして早刈りを奨励すると雖も、容も此の陋習は打破されぬ、本

年の如き間歇的降雨の續いた事も收納の遅れた一つの原因とは云へ、晩種であつても本月上旬には充分に取り入れを濟す事が出来る筈であるに拘らず、農家の大半は是れを急がず、然も災厄の前日風雨急なるに際しても架稻積稻を其儘放置した、此の事が今回の農家の被害に一層拍車をかくるに至つたものと見らる、現に

下小川、玉川、夏井、高久の農家の大半は既に收納済みとなり、稻流失の被害等を蒙らずに済んだ事實に徴しても明らかである。

また漁濱に於ては、前日早くも小名濱測候所が暴風雨の警報を發し、各漁業家の急りなき準備を迫つたが比較的此の警報に無關心であり、出漁中の漁船の内早くも避難の方法を構はじが如きは誠に尠なかつた云ふ。

是れも警報に従つて適當に處置する處があれば、沈没難破大小合して三百餘隻波浪に呑まれた生靈四十餘名と云ふが如き悲しむべき數字を示さなかつたではなからうか。

災害後の今日、斯かる言を爲す事は、死兒の顔をみるにも似た一種の緑り言であるといはばいへ、天命を待つに人事の充分を盡さざる恨みがあつたとすれば、此の點を反省して後日の戒めとする事が決して徒勞ではないと思ふ。

而しながら、農漁村が最も激甚な災害を蒙つたとい

ふ悲しむべき事實に對しては、郡民擧つて同情の意を表し、其の痛手を輕からし事を祈つて挽回再起の上に出来る丈の助力を爲し、今回の不幸を共に分けて、被害者の意を安んぜしむる事が必要であり、此點に關し

平町の鮮魚關係商が漁濱を救へ！と起つ

海魔の毒爪にかけられた生靈を慰む義捐金を募集

去る十四、五兩日當地方を襲つた大暴風雨は屢報の如く郡内隨所に激甚な

大被害を殘したが殊

に小名濱、四倉、江名、豊間等漁業地に於ける被害は甚大にて今日まで判明した惨死者及び不明者の數は實に四十餘名の多數に達し漁船の沈没を始め大破したのも三百餘隻と言ふ未曾有の大慘禍を生むに至つたが此

大悲慘事に直面して

平町の鮮魚商及び蒲鉾商が發起となり各方面から義捐金を募集して海魔に奪はれた多數の生靈を慰籍する事となり運動を開始した趣意書並に發起人は次の如くである

今回突然當地方一帶に襲來した暴風雨の爲め小名江名、豊間、四倉等の漁船中難破沈没せしもの多數に達し幾多の生靈を海底の藻屑と化せしめたるは涙なくして談るを得ざる一大悲慘事でありまして是等被害者の遺族

ては今後の協力一致に俟つべき所が多いと信じて居る

生靈を慰む義捐金を募集

が一朝にして路頭に窮せる惨状は吾等漁業者と密接なる關係を有する業務に従事するものは到底黙視するに忍びざる處でありますから微力を掲げて聊か生靈を慰籍せんとの願望を以て廣く各方面の御援助を仰ぐ次第であります、幸にして吾々の微意の達成を圖られます様大方各位の御芳情におす

- 藤寅 菊地寅治郎
- 魚清 鈴木賢次
- 藤市 遠藤市松
- あ印 阿部源造
- 丸市屋 志賀盛榮
- 安戸屋 松崎佐平
- 丸三 久野幸平
- 三國屋 篠塚平八郎
- ト印 伊藤彌兵工
- 山形屋安孫子才三郎

磐陽決勝戦に

新進高月軍勝つ

白熱戦を展開しファン熱狂 高月四—入山三

磐陽野球大會は前回に引續いて廿日午前十時から平町警中球場に於いて強敵磐炭チームを

一蹴した 入山と優勝候補と目される平俱樂部の間に準決勝戦を開始兩軍好戦したが入山軍の打撃振ひ

結局五對二で優勝候補の平俱樂部を屠り次いで午後一時から前回古河、鐵道兩チ

逆に一點をリード一回の優勝カップを獲得した因に準々決勝戦よりの成績は左の如くである

學生卓球

平商木田君優勝 既報平町舊城跡磐城青年學校主催の第一回下學生卓球大會は昨日午前九時より田村、坂本、鈴木三氏審判の許に同校内に開催、平商

- △準々決勝
- 杉本(青) 2—0 長谷(商)
- 木田(商) 2—0 眞根(中)
- 小齊(中) 2—0 川島(中)
- 齊藤(商) 2—0 小見(中)
- △準決勝
- 木田(商) 3—0 根本(青)
- 齊藤(商) 3—0 小齊(商)
- △決勝戦
- 木田(商) 4—1 齊藤(商)

第二回の買上米も

應募者が無い見込

ける第一回政府買上米は頗る不評で一俵の應募者も見えなかつたが更に今回發表となつた第二回政府買上米は来る廿一日より廿六日迄申込を受け廿七日に決定を見る事になつたが買上相場は四等一俵に付八圓四錢で同所管内四等米相場は八圓四十錢と云ふ高値を呼ばれて居るから再び應募者はないものと見られて居る

神谷新村長

片寄氏當選

既報石城郡神谷村長佐藤久三郎氏は本月初旬辭職したので去る十七日村會を開き後任選舉の結果助役片寄爲藏氏が満場一致を以つて當選した

退職の記念品

愛國婦人平委員區では前委員長伏見チヨ氏へ近く記念品として火鉢一對を贈ると

平町人事

△古鍛冶町三二 當時郡山

- 市虎丸町一七六 加藤健
- 治氏三男享信
- △大工町二六 當時北海道常呂郡留邊菜町市街地宮本字一郎氏四男郁雄
- △大町四六 佐藤克己氏四女キヨ
- △古鍛冶町三三 會澤丑松 (七〇)
- △正月町一六 飯田キヨ (三六)
- △南町七五 當時北海道函館市元町五八 石川正子 (三三)
- △新川町一〇 松崎サタ (四九)

眠る子に

毒菓子と與へ

母子が心中

母は死亡し子は危篤 外科手術で入院中に

裏面に複雑な事情?

數日前から平町田町安齋病院に外科手術の爲め入院中の當時平町舊城跡三ノ丸雜貨商叶多喜久子方同居秋元ミイ(三八)は十九日十時頃

看護婦の隙を覗いて傍らに無心に眠つてゐた長女和子(一)を揺り起して猫イラズを入れた餅菓子を與へ喜こんで件の菓子を食へ終るのを見渡し自分も同様猫イラズを

多量に嚙下し覺悟の親子心中を企て苦悶してゐるのを付添ひ看護婦が発見大騒となり兩名共應急手當を加へた結果幼兒和子の一

命は取り止めたがミイは廿日午前六時遂に絶命した平署から係官出張検視したが

自殺の原因は不明

裏面に複雑な事情があるらしいと入院患者の親子心中で多大の迷惑を被つた安齋醫師は「秋元さんは二三日前から外科手術の爲め入院した方で御主人は相當な官吏だとの事です、

官吏だとの事です

勿論原因は分明しませんが秋元さんの病態は幾分ヒステリー氣味だつた事を考へると何等か事情があるの「せう」と多くを語らなかつた

火災季に入る

空ツ風を其筋警戒

比較的好成績の前年より 更らに食ひ止めんと躍起

物凄いやり聲をあげて警戒名物の空ツ風赤井嶽嵐しが吹き狂つて愈々恐ろしい火災シーズンが迫つて來たので平警察署では先般火防大宣傳以來管内消防組

を督して火防に努める事となり夜警其の他の準備にとりかゝつた恐ろしい火事の災害は去る昭和三年以來平警察管内の火災統計を見ると合

計三百十三回の出火があり此の焼失家屋六百八十戸、死傷者五十七名、損害高實に三十二萬四千餘圓と言ふ莫大な數字を示して居り、一ヶ年平均は出火七十九件、燈失家屋百七十戸、死傷者十四名此の損害高八萬一千

せめて遺品なりと 漂着しないか

遺族が眼を泣きはらし 各濱を尋ね歩く

けふ江名濱で施餓鬼

坑夫惨死

突然落盤

坂本氏母堂逝く

石城郡江名漁業組合では今回の颯風遭難乗組員の施餓鬼を本日午前十時同濱の海岸で組合葬の形式に依り執行したが各遺族は本日、施餓鬼迄にせめて死者の遺品なりとも漂着しないかと辯當持參で豊間、高久、大浦方面の海邊を尋ね歩いて居たが何一つとして発見されたものはないと

石城郡好問村小田炭礦採炭夫菊地虎太郎(三)は去る十八日午後十時頃同坑内で作

明日のラジオ

廿二日

今夜も明日も北西の風晴れたり曇つたり

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
名作物語「コーカスの捕虜」豊岡佐一
後八、〇〇 放送歌謡伎劇
假名手本忠臣蔵六段目
(勘平切腹の段)仙臺都會連中

明日の部

前九、一〇 料理献立「リソゴと柿の白和へ」中村光三
前一〇、三〇 家庭講座
後一〇、五〇 音曲「吹き寄せ」博多家人形 水茶家博次
後二、〇〇 家庭大學講座
「明治の文學」早稻田大學教授本間八雄
後五、〇〇 受験講座(漢文講座)
塚本哲三

落ち付かぬ男女

駆落の途中捕る

平驛待合室で十九日午後十時頃若い男女がオド／＼した様子で徘徊して居るのを平署員が怪しみ取調ると水戸市上市柳町保険外交員佐川隆(三)同町カフエーダイヤモンド女給牛久トミ(三)の兩名で六月より懇ろとなり夫婦の契を結んで世帯を持たんと兩名共に無断で駆落し北海道へ走らうとする途中である事判明嚴重説諭の上釋放した

平裁判たより

同郡川部村大字三澤字鍋坂八番地無職大津市太郎(三)及び同所字地作四番地理髪業清水由吉(三)の兩名はダイナマイトを使用し同村小川地内四時川に於て銃マルタ等を探捕し銃砲火薬類取締法施行規則並に漁業法違反として市太郎は罰金三十圓由吉は罰金二十圓に本日各々平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

労働平和會が 購買指定 各區に設け 生活を緩和

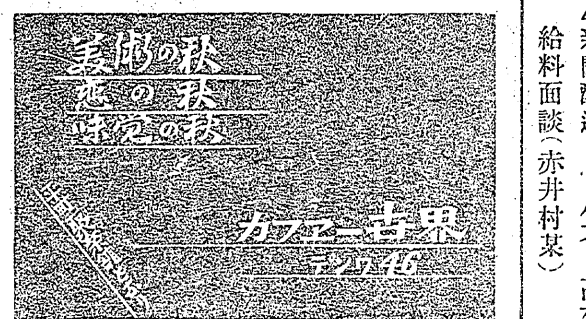
平町上水道の擴張工事に従事した自由労働者連が平和會を組織して會員の親睦向上に努力してゐる事は既報の如くだが同會では其の後會員が急激に増加現在四百餘名に達して居るので會員の生活緩和を計る爲め町内

平職業紹介所報告

回人を求める方

△女中 三十才以下 尋卒

月六圓(平町某)
△農夫 二十五才 尋卒
月八圓(四倉町某)
△女中 二十才 尋卒 給料面談(平町某)
△農夫 五十才以下 委細面談(豊岡村某)
回職を求める方
△難婦 五十才 尋卒 給料面談(平町某)
△土工夫 五十五才 尋卒 給料面談(平町某)
△撞球ゲーム取 十九才 高卒 給料面談(内郷村某)
△新聞配達 十八才 高卒 給料面談(赤井村某)



幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】
悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百五席 平手造酒

遊女の裏おもて

留次郎は雛鶴に夢中になり親の意見も肯入れず相變らず潮來の松屋へ通ひ詰めてゐると其年の六月の事、例の如く雛鶴を相手に話して居りました處、梯子を荒々しく踏み鳴らして上つて来たは飯岡の助五郎の子分で土鼠の又藏と云ふ者土鼠のやうにぶく／＼肥満つてゐるからこんな異名が付いた、これが雛鶴の客です。今日も賭場で勝つたと見えて大分酔つてゐる、鳴海綾の浴衣の黒八反の帯を締めて紺足袋を穿いてゐる、浴衣を着て角帯を締足袋を穿いてゐるは恰好が悪い、それを見ると二階の取締をしてゐる婆アさんが

婆「オヤ土鼠の親分能く来て下すつた事、ちよつと土鼠の親分！」
又「ヤイ何を云ふ只親分と云へ、土鼠だけ餘計だもぐらもちに親分などがあるかオイ雛鶴を呼んで来い」
婆「待つておいでなさいよ今花魁を伴れて来ますから」
雛鶴の部屋に行き
婆「ちよつと雛鶴さん、お客さまですよ」

女は留次郎と二人で睦じさうに酒を飲んで居たが雛「誰」
婆「又藏さんが来しましたよ」
雛「イヤですわね、もぐらもちが来て」
それを聞いた留次郎が



留「何だもぐらもちとは」
雛「飯岡の若い者で又藏と云ふ人の、綽名は土鼠」
留「ヘー、もぐらもちが遊びに来たとは面白いな」
雛「ちよつとおかねどん、あの馬鹿野郎はお金を持つてゐるかえ」

婆「大分持つてゐるやうですよ」
雛「それでは博奕に勝つたのだね、行つて小遣ひを取つて来てやらう、留さん少し待つてゐておくれ、お前の遊ぶ入費をもぐらもちから取つて来るから」
と部屋を出た、そんな事とは知らぬ又藏

雛「イヤイヤ、お前のやうな性悪な人はあるまい」と云ひながらバツと飛付いて懐中へ手を入れ財布が

大分財布が軽くなつたぞ」
雛「亭主のものは女房が使つて悪いの、夫婦は一心同體と云ふ事もあるわ」
又「それは俺も心得てゐるだからよ腹を立つ譯でもねえが無闇につかみ出してはいけねえ、今夜は佐原の賭場で儲けたから、船を雇つて川風に吹かれながら利根越をして出て来た、部屋がふさがつてゐると聞いたが客は何處の者だ」
雛「遠方の人さ、筑波山へお詣りに行つた歸りに潮來へ見物に来て今夜遊んでゐるがね、老人なんだよ」
又「さうか田舎者か」
雛「あ、奥州南部の人さ」
又「日本に南部の國などはあるめえ、しかし大そう遠方から出て来たな」
雛「山國の人だから一寸も詞が判らないんだよ、どうもいたこと云ふ所はえらくするところだ、此處は名所です二のはずがあるなんて云つて」
又「日本語が能く出来ねえ奴だな、老人だつて何歳位だ」
雛「さうですね、九十三にもならうか、ちよつとよける様だが」
又「大そう生きたもんだ」
雛「又藏さん今夜は皆さんに御馳走をしてやつておくれ、それからお茶を引いてゐる者を揚げてやつておくれ、おかねどん皆を呼んで来ておくれ」
と命令を發したからオライとゾロ／＼押して来て好きな物を取りガブ／＼酒を

飲み、すつかり酔ふと一寸土鼠の親分何か唄つて聞かしておくれなさいよ、踊りを見せて下さいよ、もぐらもちの踊りと……さア夜が明けると親分は死ぬから、イヤ又藏はつまらなく散財をするお上んなさい、と酒を勧められた又藏大酔酩ゴロリ横になつたがグツスリ鼾聲を聞いて寝てしまつた。

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 胃性病 腸虫病

病林 門專

院醫科 腸病 胃性病 院醫科 腸病 胃性病

○七一話電 町南平

斯界の權威!!!

大塚の靴

自製編上靴 六圓
學生靴 女學生半靴 五圓

紳士靴 弊店自慢の流行新形

平田町 大塚製靴部 電話七七番

市原醫院 平田町 電話一一四番

城共濟病院案内

院長 醫學博士 石山謙 石山謙 (電話二四番)

内科 醫學博士 石山謙
小兒科 醫學博士 佐久間重
外科 醫學博士 桂馬重
喉科 醫學士 五十嵐雄二
皮膚科 醫學士 藤田謙
産婦人科 醫學士 佐久間重
X光線科 醫學博士 石山謙
衛生試驗所 醫學博士 石山謙

藥局 (藥劑士) 高本孝 高本孝
診療時刻 午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非ず

平田町 磐城共濟會 電話六四一番

金銀高價買入

質札は(金時計銀指輪類)有利に御相談致します

平田二丁目(三幸堂跡)

根本時計店 電話六〇七番

三河産業博覽會 昭利産業博覽會 金牌受賞

かまぼこ 製造

儀式用 **お茶漬**

お惣菜用 さつま揚

吉原場 **不味實** 電話一四一番

平田町一丁目